

暑い瞳

うるま市立
平敷屋小学校
幼稚園
発行
校長
高良孝志

平成29年度のスタート

春になると日差しも強くなり、そのあふれるような光を浴びて輝く新緑の美しさは、春の喜びをいっぱいに表しているように感じる。

旧暦の4月は卯の花が咲く頃で「卯月」と呼ばれるようになったとする説が有力である。もつとも新暦になってからは、桜が4月の代名詞になっており、入学式の飾り付けには、桜の木や花びらが定番である。桜は日本人にとつて最もなじみの深い花である。今も続く桜の花見の風習は、江戸時代

4月7日(金)に与勝第二中学校の入学式に参加してきた。つい先日平敷屋小学校を卒業した子ども達が真新しい制服をつけて入場をしたとき、なぜか大人びて見えた。みんな笑顔での入場で堂々としていた。担任の先生から一

けには、桜の木や花びらが定番である。桜は日本人にとつて最もなじみの深い花である。今も続く桜の花見の風習は、江戸時代

に時の将軍吉宗が隅田川堤や飛鳥山に桜を植えさせ、庶民に花見を奨励したことが始まりと言われている。学校にとつて



平成29年度入学式

4月は新年と同じである。異動者や入園児、新入生、転入生にとつては初めての学校であり、教職員・在校生にとつても新しい学級や担任への期待と不安が入り混じっていることだら

人一人名前を呼ばれりと大きな声で「ハイ」という返事があつた。

と誇りに感じた。その式で一番来賓の皆さんが驚いていたのは、来賓紹介の

中学校の入学式に参加して

また、礼の仕方も三秒礼をきちんとし、さすが平敷屋小学校の卒業生だ

場面では全員が来賓の方向を向いたことである。これには中学校の職員も感動した

う。4月に行われる様々な行事を通して、幼児・児童・教職員の不安を取り除き、スムーズにスタートを切りたい。

幼稚園・一年生の交通安全教室

4月14日(金)に幼稚園・一年生の交通安全教室が開催された。

その日はうるま警察署の安全担当のおまわりさんと平敷屋駐在所の大浦さんそしてうるま市交通安全協会の皆さんが指導してくれました。腹話術人形のケンちゃんも今年も参加してくれて、分かり

ようである。小学校で学んだことを実践できる平敷屋の子ども達、素晴らしいですね。

午後には、与勝緑が丘中学校入学式にも参加したが、本校出身の子ども達は「ハイ」と返事と礼がしっかり出来ていた。頑張れ平敷屋っ子

家庭支援員

本校に今年度、家庭支援員が教育委員会より配置されました。

子どもの貧困対策を主な業務として、不登校、教育相談、経済的な支援等の相談を受け、行政とのつなぎも行います。担当は平敷屋小学校と与勝第二中学校で、普段は平敷屋小学校の「きずなルーム」にいます。

勤務は月～金の午前8時30分から午後3時までが基本時間です。相談がありましたら、学校までお電話ください。

やすい安全教室であった。体育館の模擬信号機で説明を受けた後、県道に移動して実際に信号機の渡り方体験をした。

多くの保護者も忙しい中、駆けつけてくれ、子どもと安全を確かめていた。



大切なこと

大きな夢や希望を持つことは大切なことですが、そのためには、日頃から夢や

希望に向かって努力することが大切だと思ふ。

「努力」という言葉や「ある目的のために力を尽くして励むこと」とある。

日本プロ野球選手として始めて国民栄誉賞を受賞した王貞治さんは、「努力が報われないことなどあるだろうか、報われない努力がある」とすれば、それはまだ努力とは呼べない」と言っている。

また、メジャーリーグで活躍しているイチロー選手は「努力せずには何かできるよくなる人のことを天才というのなら、僕はそうじゃない。

努力した結果、何かができるようになる人のことを天才というのなら、僕はそうだと思う」と努力の大切さを話している。

また、松下電器の創設者である松下幸之助さんは、「平凡なこ、些細なこと、それを積み重ねて、そのうえに自分の知恵と経験を加えていく、それではじめて、成功をすることができ。成功は小さい努力の積み重ね」と言っている。

夢をつかむためには、簡単なことや平凡と思われようなことをしっかりとやり遂げ、おろそかにしないということが大切であり、そのよなことの積み重ねが努力であるということだと思ふ。



平敷屋の子ども達も努力を積み重ね、大きな夢や希望をかめることを期待したい。「大切な事を忘るな」。